

映画「大綱引の恋」2020年11月市内先行公開予定

Satumasendai City Public Relations

薩摩川内

広報

さつませんだい

11

November.2019
vol.362

「新しい自分を探せる作品
見てくれた人がそれを
感じてほしい。」

甌島で働く
韓国人研修医

ヒロイン
知英(ジヨン)

薩摩川内をメインにロケ 川内大綱引が映画に

映画 大綱引の恋

「自分のターニングポイント
になるような
作品にしたい。」

綱にかける
薩摩川内男

主演

二浦貴大



420年続く、伝統の川内大綱引

大綱引に青春をかける^{とび}鳶職・有馬武志と甌島の診療所研修医ヨ・ジヒョンとの切ない恋と二人を取り巻く感動の家族模様を描く！！



武志の幼なじみの父親を演じる阿部真彦さん。「鹿児島には個人的な縁もあり、すでに5回訪れています。大綱引の魅力が全世界に届けたい」



武志の妹を演じる比嘉愛未さん。「鹿児島は初めてで楽しみでした。川内が誇る大綱引が縁を結んでいく。いい映画になるように精一杯やらせていただきます」



武志の母親を演じる石野真子さん。「地域の方たちと触れ合うととても温かくて。皆さんの声を聞いて頑張りたいと思いました」



本作品のプロデューサーでもあり、武志の父親を演じる西田聖志郎さん。「川内大綱引を初めて見て、3,000人がぶつかり合うさまに、これは撮るしかないなと」



映画「大綱引の恋」

キャスト集結!

鹿児島に来た時の印象は、真っ暗で何もなくて。でも、夜空がきれい。本当に見たことのないきれいな夜空だと思いました。鹿児島島のいろんなところに行きたいと思っています。そして黒豚も食べたい。撮影では、大綱引の再現シーンを楽しみながら撮影しています。この作品は、一人一人のキャラクターが生きていると思います。これまで日本人役

皆さんとは初共演ながら、この中に入っていることが心強くと感じています。この環境で撮影できることがとてもうれしです。

ヒロイン 知英さん
研修医 ヨ・ジヒョン役



武志の妹の恋人を演じる中村優一さん。「本番の大綱引を見て、気持ちが熱くなって自分も出たい、出たいと言ってスタッフに止められました(笑)」



武志の幼なじみを演じる松本若菜さん。「全編鹿児島ロケというぜいたくな環境で、地域の方たちの多くの協力もいただいているので頑張りたいです」



監督の温かい人柄からか会見は終始和やかなムードで進み、記者からの要望で石野さんと比嘉さんが鹿児島弁を披露する一幕も。

本市が舞台となる映画「大綱引の恋」の撮影が9月からいよいよ始まり、9月28日(土)には、川内ホテルで記者会見が行われました。会見には、佐々部清監督、主演の三浦貴大さん、知英さんをはじめ、豪華な俳優陣が顔をそろえました。



主演の三浦貴大さん。上方の一番太鼓で、大綱引に青春をかけるとび職の跡取りである主人公有馬武志を演じます。

今回は、皆さんに「大綱引の恋」の記者会見の様子を少しだけお届けします。

佐々部清監督



今回の作品では、三浦さんの朴訥さの中に持つあでやかさをどう見せられるかと知英さんのうまくなり過ぎた日本語をどう崩すかがポイントだと思っています。また、主役のお二人は、私の作品に初めての起用だったので、周りのキャストにはこれまで私の作品に出ていただいた信頼のある方々を用意しました。

を演じることが多かったですが、今回は韓国人という役どころで、日本語を少し崩して演じています。新しい自分を探せる作品、見てくれた人がそれを感じる作品になればいいなと思っています。

映画「大綱引の恋」を全力で応援します

記者会見では、この他にも映画にかける思いと地元の方たちのご協力に対する感謝の言葉などをいただきました。多彩なキャスト陣で420年の歴史ある大綱引が全国のスクリーンに。映画の完成と上映に向けてますます期待せずにはいられません。



「大綱引の恋」公式サイト

市を挙げて、映画「大綱引の恋」を全力で応援していきたいですね。



撮影中のワンシーン。本番さながらの迫力を見事に再現しています。

このあと、一番大事なシーン(国道3号での本綱)の撮影を控えており、雨が降らないでほしいという思いで頭がいっぱいです。昨年と今年に撮影した大綱引の本番の再現を一番太鼓を中心にして撮る予定で、撮影順番はコマ撮りで順不同ですが、スタッフとの信頼関係でテンションを保ちながら撮影したいと考えています。

主演 三浦貴大さん
とび職三代目 有馬武志役

この作品は、家族と、海を越えた人間同士のつながりを描いた作品になると思います。

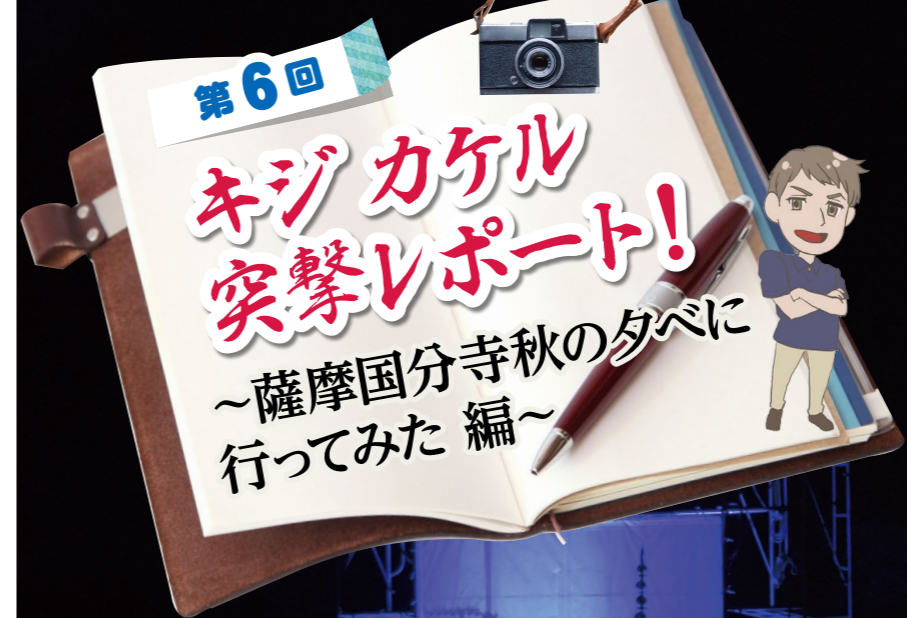
良い映画になるように頑張りたいです。一番太鼓の練習では、ずっと腕を上げていたので、腕が痛いです。本番では皆さん40分間たき続けていらっしやっただので、本当にすごいことだと思いました。歴代の一番太鼓の方々にも代わる代わる教えていただいたので、身の引き締まる思いです。父は、昔から、家では仕事の話はしない人だったので、今回の映画の件についても特に両親からのアドバイスはもらっていません。気の利いた話ができて申し訳ないです。仲は良いです(笑)

映画が好きなので、これからもやっていきたいと思っていますが、この作品では、演じる上での自分の感情や心情を一番考えた作品となりました。自分のターニングポイントではないですが、そのようなものになればいいなと感じています。どんな作品になっていくのか楽しみです。しっかりと務め上げたいです。

ヒロインの知英さん。下甕島の診療所に勤める韓国医 研修医 ヨ・ジヒョンを演じます。

薩摩国分寺 秋の夕べ

いにしえ語り
〜新しき年の初め〜

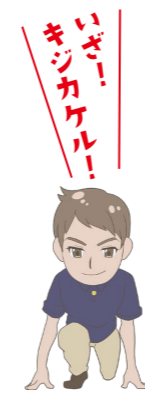


今回は、薩摩国分寺秋の夕べが、10月5日(土)に開催されると聞いて調べに行ってみました。薩摩国分寺の建立は、発掘調査によって、奈良時代末期頃と推定されていますが、九州征伐の豊臣秀吉軍の襲撃に遭い全焼その後、江戸時代に島津光久により再建された後、明治2年廃寺となりました。

現在、薩摩国分寺跡は国指定の史跡となっており、同史跡公園を芸術活動などの発表の場として活用し、地域文化の振興を図る目的で「薩摩国分寺秋の夕べ」が開催されています。

本日は、昨年が記念すべき第20回で盛大なイベントになる予定だったんだけど、台風により、やむなく中止にしたんだそう。ということは、今年のイベントにかけるスタッフ、参加者の思いや意気込みは、相当なものはず。

これは是非でも行ってみたいと。



▲キャンドルアートの点灯

いよいよ秋の夕べがスタート。会場の一角に用意された大型スクリーンには、薩摩国分寺の歴史が映し出され、寺の建立から史跡公園に至るまでの経緯が語られました。



解説の声に耳を傾けながら、歴史にゆっくり思いを巡らせ、「令和」へと続く壮大なストーリーに浸りました。

続いて東郷学園義務教育学校吹奏楽部22人による演奏で幕開け。



皆さんもご存知のとおり、東郷学園義務教育学校は、今年の4月に開校したばかり。いにしえより伝わる薩摩国分

寺の歴史と、新しく幕を開けたばかりの東郷学園義務教育学校の歴史。

キャッチコピーの「いにしえ語り」新しき年の初め」と相まって、見るもの、聞くもの、心を震わせます。

歌とダンスを取り入れた楽曲「パプリカ」と勢いよく弾むようなロック調の「ディーパールメドレー」の2曲の演奏は、会場内の聴衆を魅了し、演奏終了と同時に拍手が沸き起こりました。

キャンドルアート点灯式では、七重塔をイメージしたミニチュメントに7色の明かりがともると、約5000個のキャンドルアートとともに全体アートが完成しました。

この七重塔は、かつて聖武天皇



皇の勅命により、各地に国分寺が設置された際に、寺院と同じく建設が進められたといわれていることにちなんで制作されたもので、市内のボランティア団体や地区コミュニティ協議会など延べ150人で作成したキャンドルアートとともに、この秋の夕べ最大の演出となりました。

会場内に浮かび上がった七重塔の鮮やかなともしびとキャンドルアートの穏やかな光は、美しいの一言だけでは言い表せないほど幻想的で魅力的な空間をつくり出していました。



点灯式の後は、再び大型スクリーンが登場し、「いにしえ語り」万葉を彩る人々」と題して、大伴家持をはじめとした元号「令和」の基となったゆかりの人々や場所などが紹介されました。



▲会場に出現した大伴家持の像



▲披露された高江太鼓踊り保存会による太鼓踊りは、市無形民俗文化財に指定されています。



▲川内純心女子高等学校ハンドベル部のOGで結成されたHello Bell Ringers(ハローベルリンガーズ)

薩摩国分寺は、これまでの発掘調査により配置の全容がほぼ明らかになっています。中軸線上に南大門・中門・金堂・講堂・北門を配置し、東寄りに塔、西に西金堂といった配置が分かっています。創建時の想定模型については、川内歴史資料館で観覧することができます。

秋の行楽シーズン、皆さんも国分寺跡史跡公園を散策しながら、創建当時の歴史と文化に思いをはせ、歴史と文化の薫りを味わってみてください!



▲YULYさんと山崎トムさんの2人による心に語りかけるような歌と演奏のコラボレーション

皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。キジカケルが取材に伺います。

問合せ/本庁広報室広聴広報グループ
☎(23)5111
(内線632)